



姉妹都市交流で かけがえのない 14日間の感動体験！



東海村と米国アイダホフォールズ市は昭和56年に国際親善姉妹都市の盟約を締結して以来、45年にわたって交流が続けています。今年は7月22日から8月4日にかけて、学生訪問団18人(高校生8人、中学生7人、引率者3人)がアイダホフォールズ市を訪問しました。

学生たちは、フレンドシップガーデン(日本庭園)やイエローストーン国立公園の見学やホストファミリーとの交流を経験し、大きな刺激を受けてきました。

【問い合わせ】東海村姉妹都市交流協議会事務局(政策推進課内)
☎282-1711 内線1306)

フレンドシップガーデンで、突然、現地のテレビ局のインタビューを受けました。少しの緊張と大きな高揚感がありました。スタッフはとても親切に私の拙い英語を聞いてくれました。周りの方は、質問内容が分からない私に、簡単な英語で教えてくれました。英語を通じたつながりができた気がして、心が温くなりました。



学生リーダー
茂木 幸祐さん



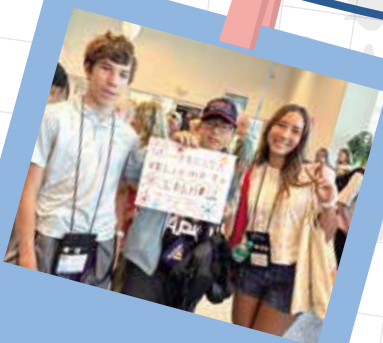
学生副リーダー
齊藤 隆世さん

今回、特に印象に残ったのは、イエローストーン国立公園です。日本では見ることのできないような広大な自然と野生動物を間近で見て、その迫力に圧倒されました。ホストファミリーとの交流では、自分の気持ちを英語で伝えることの難しさを感じましたが、積極的に話すことの大切さも学びました。

渡米する前は自分の英語が通用するのか、日本との文化の違いに適應できるのかなど、不安がありました。でも、渡米後はそんなことを考える暇がないくらいに楽しくて、不安はどこかへ行ってしまいました。初めての海外での交流は、とても刺激的なものでした。またあの場所へ帰れるように、まずは日本での勉強を頑張ろうと決意を新たにしました。



学生副リーダー
石倉 璃音さん



あなたも
姉妹都市交流
しませんか？

会員
募集中!!

